

歴史書・人文書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2026年1月下旬刊行

# 貿易は誰のものか

—幕末・明治初年の貿易・経済と国際交流—

鵜飼政志 著

四六判・ソフトカバー・282ページ 本体価格 3,000円

明治維新という政治的激変のなかで展開された、貿易と経済、日本と国際社会との関係をめぐる巨大な変動をグローバルな視点から描き出す。

(目次)

はじめに	第一一章 欧米人のみた幕末の日本
第一章 明治維新記念祭に対する疑問	第一二章 明治初年の日本へ
第二章 近世日本と四つの「口」	第一三章 明治新政府の経済・貿易政策、留学生問題
第三章 ペリー艦隊来航と下田条約調印	第一四章 明治初年の条約改正問題
第四章 「仮条約」と自由貿易	第一五章 大隈重信と商法司・通商司政策
第五章 日本の開港	補論1 軍事面からみた薩英戦争・下関戦争
第六章 国内社会と開港場	補論2 「英國策論」？
第七章 日本人のみた欧米世界	補論2 現在の学術研究状況批判
第八章 あらためて外国貿易は誰のものか	おわりに
第九章 対日貿易の変貌と市場拡大への期待幻想	あとがき……五百旗頭 薫
第一〇章 開港場文化の形成	

〈著者紹介〉鵜飼政志（うがい まさし）：1966年生まれ、歴史学研究者

～版元から～ 幕末・明治初年の日本は、欧米諸国との条約調印によって西洋の条約体制に組み込まれたといわれます。しかし実際には、欧米人の要求する「自由貿易」の論理と条約体制の履行を、日本人は自らに都合よく理解し恣意的に履行したというのがその実像でした。本書は、幕末維新期の日本をとりまく経済環境と貿易の実態、さらに外国人居留地や留学生など国際交流の在り方も含めて、近代日本黎明期の貿易・経済・国際環境について分かりやすく描きます。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行:有志舎 貿易は誰のものか —幕末・明治初年の貿易・経済と国際交流— 鵜飼政志 著 四六判・ソフトカバー、282ページ 本体価格 3,000円 新刊 ISBN 978-4-908672-87-3 C1021	分野 日本史 (近世・近代)
	冊 ご担当 様		弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。

ご注文は (株) JRC へ

FAX: 03-3294-2177

電話: 03-5283-2230

返品条件付注文です。